

## 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために CAP スペシャリストができること 『すべての子どもが“安心・自信・自由”に』

2020年4月7日

NPO 法人 CAP センター・JAPAN

新型コロナウイルス感染症の爆発的増加と蔓延が世界中で進行する中、落ち着かない日々を過ごされていることと存じます。まずは、CAP スペシャリストの皆さんと皆さんのご家族のお身体を何よりも大切にしてください。

今後もまだまだ困難な状況が予測される以上、私たちは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止についての対策を行い、リスクマネジメント、クライシスマネジメントを行っておく必要があります。すでにグループごとに対策を検討されていることとは思いますが、トレーニングセンターとして新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための留意点などを提示させていただきます。

参加者、さらにスタッフの安全を確保しながら、安心・自信・自由を広げていくために、視野を広げ、選択肢を考え、Action を起こしていきましょう！

CAP グループとして、十分な新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にむけた対応のご検討、ご準備をいただきますよう、お願いいたします。

今こそ、すべての子どもが“安心・自信・自由”に！！



### ～CAP スペシャリストの皆さんに共有してほしい情報と行動～

新型コロナウイルスについては、風邪やインフルエンザと同様に、まずはマスク着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコール消毒等により、感染経路を断つことが重要であることはすでにご存じの通りかと思えます。「うつらない」だけでなく、「うつさない」ことにも留意することが必要です。そのためには、密集・密閉・密接のいわゆる「3つの密」を避けることが重要です。その他、もしも感染者がでた場合についても想定しておくことが必要です。そこでトレーニングセンターとして、以下の留意点を CAP スペシャリストの皆さんに共有していただきたいと思います。

## 1. CAP プログラムを提供するスタッフ等について

※ここでいうスタッフ等とは、子どもに直接プログラムを提供する CAP スペシャリストだけでなく、事務担当や事務所の全ての職員、ボランティア等を含むものとします。

①CAP プログラムを提供するスタッフ等については、出勤前に各自で体温を計測し、発熱（37.5 度以上の発熱をいう。以下同じ。）や呼吸器症状（以下「発熱等」という。）が認められる場合には、出勤を行わないことを徹底しましょう。該当するスタッフ等について、事務局等への報告により確実な把握が行われるようにしてください。

その他、以下の方についてもワークショップスタッフとしての参加を控えるようお願いいたします。

- ・過去2週間以内に発熱や感冒症状（風邪など）で受診や服薬等をした方
- ・過去2週間以内に身近なところで肺炎を発症した人がいる方
- ・そのほか、発熱・咳・全身痛などの症状で体調のすぐれない方

<注意すべき症状>

- ・ 37.5℃以上の発熱、咳、倦怠感などに加え、呼吸苦、息切れの症状がある場合
- ・ 37.5℃以上の発熱、咳、倦怠感などの症状が、5 日以上持続する場合

②過去に発熱等が認められた場合にあっては、解熱後 24 時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは同様の取扱いとします。なお、このような状況が解消した場合であっても、引き続きスタッフ等の健康状態に留意すること。

③該当するスタッフについては、適切な相談及び受診を行い、迅速に対応を行うこと。

あわせて、グループの事務局等に連絡し、接触感染のおそれを考慮し、接触した可能性のある場所（人、ものなど）を知らせること。

④後日スタッフの中で感染者がでた場合には、必ずその旨をグループの事務局等に報告し、学校等に連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所など公的機関に連絡がとれる態勢を確保してください。

## 2. 学校等におけるCAPプログラム提供時について

①依頼時、及び先生との打合せにおいて、CAPグループとして以下の②～⑨のように安全対策をとっていることを伝え、学校等においての取り組みでさらに留意事項がないか確認しましょう。

また委託事業等の場合は、事業主体との間で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についての話し合いを行い、CAPプログラム提供について以下の②～⑨のように配慮していることを伝え、安全確保をしたうえで委託事業に取り組みましょう。

### <安全対策として伝える内容>

- ②必ず、マスクを着用して学校施設に入ります。
- ③ファシリテーターは飛沫感染を防ぐため、声の大きさを調節し、手が届く範囲以上の距離をとって行います。
- ④ロールプレイヤーはロールプレイを行う直前までマスクを着用し、ロールプレイが終わり、子どもの側に着席する際にはマスクを着用します。
- ⑤クラスの子どもはロールプレイに参加する際にも、マスクは着用してください。表情が見えにくいといったことが起きるかと思いますが、子どもの姿勢・からだの緊張など全身の様子を観察していきます。
- ⑥消毒液等を持参し、学校施設・CAPプログラム提供会場に入る際には、消毒を行うことを徹底します。適切な方法での手洗いに随時努めます。
- ⑦子どもワークショップにおいては、子どもが座る間隔を広く（手の届かない範囲）とれる場所を検討ください。（なお子どもワークショップ当日は、密集・密接を避けるよう子どもでも空間をデザインするように配慮します。）
- ⑧およそ40分に一度は換気することを一つの目安として心掛けます。
- ⑨トークタイムにおいては、子どもが相談しやすいように、CAPスタッフは表情が見えるようにしておきます。そのためにマスクの着用はしませんが、手の届かない範囲の距離をとるようにします。なお、子どもにはマスク着用をお願いします。

以上です。

CAPグループとして、スタッフ一人ひとりの意識が子どもを守ることに繋がります。ぜひこの情報と行動をグループで共有していただきますよう、お願い申し上げます。